

標 題 : Nesfatin-1: A novel regulatory peptide associated with acute myocardial infarction and Mediterranean diet.
ネスファチン-1 : 急性心筋梗塞および地中海食事と関連する新しい調節ペプチド

著 者 : A. Kuyumcu, et al. (トルコ アンカラ・ニユムネ教育・研究病院
栄養学・食事療法科)

掲 載 誌 : Peptides. 2019 Apr; 114:10-18

要 旨 :

ネスファチン-1 と急性心筋梗塞および地中海食事スコアとの間の関連を、我々は評価した。

67 人の急性心筋梗塞の患者および 33 人の正常な冠動脈の患者 (対照グループ) を研究に収録した。

急性心筋梗塞の患者を、Taxus による経皮的冠動脈形成術と心臓手術との相乗効果(SYNTAX)スコアの低い値 (<32)(n=33)と高い値 (≥34) (n=35)に基づいて、2 グループに分けた。

地中海食事スコア、血清ネスファチン-1 濃度および全ての他のデータを、グループ間で比較した。

血清ネスファチン-1 濃度は、対照グループと比較して 67 人の急性心筋梗塞の患者で (高 SYNTAX および低 SYNTAX の両方のグループ) 有意に低かった (p<0.001)。

さらに血清ネスファチン-1 濃度は、高 SYNTAX グループで低 SYNTAX グループよりも低かった(p<0.001)。

急性心筋梗塞の患者および対照の被験者の両方で、血清ネスファチン-1 濃度と地中海食事スコアとの間に正の相関があり、そして急性心筋梗塞の患者で血清ネスファチン-1 濃度と SYNTAX スコアとの間に負の相関があった。

血清ネスファチン-1 濃度は、急性心筋梗塞の重症度および地中海食事スコアと密接に関連すると、本研究が示している。

著作権 © 2019 年 エルゼビア社。版權所有。

キーワード : アテローム性動脈硬化、冠動脈疾患、地中海食事、心筋梗塞、ネスファチン-1
